

## 3年次生修学旅行実施報告

11月中旬の16日(水)～19日(土)に3泊4日の日程で、3年次生の修学旅行が実施されました。今年度は北海道の東側、根室地方を訪問し、平和学習として北方領土の学習、産業学習として根室地方の水産業・酪農業の学習、環境学習として自然との共生に主眼を置いたSDGs学習を現地で行いました。天候に恵まれ、ひがし北海道の大自然を体感し、参加した生徒の笑顔が絶えない4日間となりました。また、今回の修学旅行は「北方領土を目で見る運動」助成金、「全国旅行支援」補助金を活用し、通常の3分の1ほどの料金で実施することができました。

北方領土学習として納沙布(のさっぷ)岬を訪れ、間近に見える北方領土に目を奪われ、また北方領土元島民の方による講話を興味津々に聞き入っていました。時間の関係で最後まで聞くことができなかつた元島民の方のお話を、「もっと聞きたい」という声が何人からも聞かれるほどに、心へ響いたようです。

産業学習として、根室市の水産業は食への理解を深め、酪農業は牧場での酪農体験とバター作りを行い、また現地の牛乳やアイスクリーム、ソフトクリームを何度もいただき、みな舌鼓を打っていました。

また、この地方は漁業資源の乱獲を防ぐため、毎年漁獲量を調整しつつ、自然と争わず共生を実現している日本で数少ない場所であり、環境学習・SDGs学習の観点からも格好の行き先でした。根釧台地を一望できる開陽台展望台、霧多布(きりたっぷ)湿原を眼下に見ることができる琵琶瀬(びわせ)展望台、自然環境の変化を見ることができる野付半島の講義と散策を通して、これらを肌で感じとる学びができました。

現在事後学習が続いていますが、普段なかなか目にすることのできない地域とその特色に身を預けた4日間、最後は疲れも見えましたが、大満足で川崎へ戻ってきました。この修学旅行の経験は、おそらく生徒の一生の宝物になることでしょう。

今回の修学旅行は「日本一の場所で、日本一の体験を、日本一の価格で」の目標のもと、年次団が2年の歳月をかけて企画、実施しました。通常の修学旅行の2倍ほどの訪問地に伺い、根室地方の広大かつ深い多くの魅力のダイジェスト版とも言える行程となりました。これも、定時制高校ならではのコンパクトな在籍生徒数だからこそ実現できたものです。このように本校でしか味わえない体験がありますので、中学生のみなさんは、どうぞ本校の入学をご検討ください。

※ 年次毎に修学旅行先は変わります。

### 訪問地一覧(訪問順)

開陽台展望台(中標津(なかしべつ)町)、北海道立北方四島交流センター(根室市)、根室市歴史と自然の資料館(根室市)、納沙布岬(望郷の家・北方館・根室市北方領土資料館、根室市)、瑛瑤瑠(ごようまい)郵便局(根室市)、琵琶瀬展望台(浜中町)、霧多布湿原センター(浜中町)、伊藤☆牧場(根室市)、野付半島ネイチャーセンター(別海町)、標津(しべつ)漁業協同組合(標津町)、標津サーモン科学館(標津町)、ポー川史跡自然公園(標津町)、標津番屋(標津町)、Aコープ中標津店ぷちあるる(中標津町)

